

# JCESニュース

Japan Comparative Education Society

NO.4

## 第39回大会開催をお引き受けして

大会準備委員長 石橋哲成

昨年の第38回大会（九州大学教育学部）の総会において紹介がありましたように、日本比較教育学会第39回大会は本年6月28日（土）、29日（日）の両日、玉川大学教育学部を会場として開催させていただくことになりました。

今回、どういう経過で玉川大学が会場校となるに至ったか、最初に簡単に触れておこうと思います。玉川大学は、旧制大学令による最後の大学として認可を受け、昭和22年4月に創設されましたが、教育学科は「文学部教育学科」としての出発でした。それから約半世紀を経て、教育学科も次第に大きくなり、学生数も全体で800名を有するに至りましたので、平成14年4月、文学部の改組を機に、「教育学部」として再出発することに致しました。そこで、教育学部開設記念として外国から誰か著名な教育学者を招待して公開講演会をやろう、という計画を進めておりました。そのような折に、本学会の馬越会長より、「第39回大会を玉川大学でお願いできないか」というお話を受けました。「公開シンポジウムは玉川大学の計画で進めてよい」とのお言葉もいただきましたので、私どもとしてはそれまで進めていた「公開講演会」を「公開シンポジウム」に変更し、玉川大学教育学部開設記念行事委員会協賛でやらせていただくことで、日本比較教育学会第39回大会の会場をお引き受けしたのでした。

さて、第39回大会ですが、自由研究発表を中心に、課題研究、公開シンポジウムと、ほぼ例年通りの構成となっています。公開シンポジウムは「変貌するアジアの大学経営 - 21世紀の期待に応えるために - 」というテーマで行う予定です。今やアジアの大学経営は急激な変容を遂げてきています。中国には既に1000を超える私立大学が設立され、シンガポールではMITなど世界のトップレベルの大学が共同プログラムを行ったりしています。21世紀を迎え、膨大な労働力を抱えるアジアは、今その労働力を戦略的に育てる時代に入っています。そうした中で、我が国の大学は、国際競争力を有する人材を育成し続けていけるでしょうか。今回のシンポジウムでは、アジアの狙いと日本の対応について検討できたらと思っています。UCLA教授であり、元比較国際教育学会（CIES）会長のJ. N. ホーキンス（J. N. Howkins）博士をメイン・ゲストとして迎え、他にアジアから1～2名のゲスト、日本の学会側から馬越徹教授（名古屋大学）にディスカッサントとしてお願いする予定です。

玉川大学は、東京都心の新宿から小田急線で40分、緑多い多摩丘陵地帯にあります。第39回大会が充実したものになるよう、準備委員一同がんばっております。一人でも多くの会員の皆様が、大会にご出席下さいますようご案内申し上げます。

## 「中等学校の多様化・個性化政策に関する国際比較研究」について

研究代表者 望田 研 吾

学会では研究委員会を中心にして継続的に共同研究を進めてきているが学会共同研究「中等学校の多様化・個性化政策に関する国際比較研究」は、平成12年度に研究委員会が企画・組織し、筆者を研究代表者として科研基盤研究Aで申請、採択されたものである。研究期間は平成13年度から15年度までの3年間である。この研究の目的は「世界各国の中等教育改革において展開されている中等学校の多様化・個性化政策の理念、それに基づく制度改革の実態、問題点等を国際比較研究によって明らかにし、わが国の中等教育改革に伴う諸問題の解決にとっての有用な示唆を提供する」というものである。この研究が計画されたのは21世紀における教育改革における最重要課題の一つである中等教育改革の研究に対して、比較研究を旨とする学会の特色をフルに生かして取り組むことによって、わが国の中等教育の望ましいあり方の構築に貢献することを意図したからである。研究の対象国はイギリス、フランス、ドイツ、アメリカ、中国、韓国、タイ、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、日本の11か国であり、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセアニアの主要国を幅広くカバーする比較研究である。そのため以下のように学会における各国に関する専門研究者に研究分担をお願いしている。イギリス - 望田研吾・宮腰英一（東北大学）、フランス - 夏目達也（東北大学）・田崎徳友（福岡教育大学）、ドイツ - 長島啓記（常葉学園大学）・今井重孝（青山学院大学）アメリカ - 江原武一（京都大学）・藤田晃之（筑波大学）・添田晴雄（大阪市立大学）、中国 - 大塚豊（名古屋大

学）、韓国 - 馬越徹（名古屋大学）・稲葉継雄（九州大学）、タイ - 村田翼夫（筑波大学）・森下稔（東京商船大学）、マレーシア - 竹熊尚夫（九州大学）、フィリピン - 渋谷英章（東京学芸大学）、オーストラリア - 当初、笹森健（青山学院大学）、14年度から井伊義人（北海道文教大学）に交代。なお、総括は望田が行い、また日本については各国担当者が、それぞれの国との比較という視点で考察することになっている。

本研究では、上記の研究目的に沿って、大きく(1)政策・制度レベルにおける分析、(2)学校の教育実践レベルにおける分析を進めている。政策・制度レベルでは各国における中等教育改革の方向性、中等学校の多様化の制度的実態、各国における多様化・個性化概念、多様化・個性化を促している諸要因、多様化・個性化の初等教育・高等教育へのインパクト等を分析し、実践レベルでは多様化・個性化された中等学校における学校運営の特質等、特徴的なカリキュラムと教育方法、入学方法と入学要件、教師・生徒集団の特質、さらに実践レベルにおける問題点等を見ている。本研究の研究方法は、政策・制度レベルに関しては公的文書・諸文献の収集と分析が中心であり、実践レベルに関しては対象国の関係機関・学校等を対象とする現地訪問調査を中心としている。既に13年度、14年度は各国への現地調査を実施し、そうした調査の結果等に基づき、14年度末に中間報告書を刊行するとともに、来年度第39回大会での課題研究の一つとして報告する予定である。

## 香港比較教育学会（CESHK）

マーク・ブレイ前会長  
（香港大学）



香港比較教育学会（CESHK）は1989年に設立されました。ですから、かなり若い学会ですが、活発に活動しており、その名を高める多くの成果を挙げてきました。

最も目につく活動は通常1月に開催される年次大会です。本学会はさらに紀要を刊行し、セミナーや教育関係機関の訪問調査を主催しています。例えば2002年には、香港日本人学校を訪問しました。2003・04年度には、将来この分野の専門誌への投稿者となりうる人を育成するために、若手研究者を対象とするワークショップを開催する予定です。

本学会の役員は、30の国・地域や言語で活動する関連学会をまとめるグローバルな組織体である世界比較教育学会(WCCES)の活動にも積極的に関わっています。香港比較教育学会は1990年にWCCESに加盟しました。

本学会の特徴は、香港自体の特徴、すなわち二つの言語が使用されていることを反映しています。本学会は中国語と英語の両方で仕事を行っているのです。これら二つの言語に通じていることにより、本学会は香港以外のさまざまな学術諸団体との間の連携を保っています。2002年には、中国比較教育学会(CCES)に協力して、北京で世界的な比較教育フォーラムを開催しました。

香港は小ぢんまりとよくまとまった地域です。そのことの利点は、内部コミュニケーションが良く、諸機関の間で比較的容易に連携を構

イップ・キンユアン現会長  
（香港教育学院）



築することができることです。香港比較教育学会は、大学および他の高等教育機関と協力してセミナーをよく開催しています。比較教育学分野での専門機関には香港大学比較教育研究センター（CERC）および香港城市大学比較教育政策研究ユニット（CEPRU）があります。これらの機関と香港比較教育学会との間の協力はそれぞれの側にとって有益なものとなっています。

本学会のウェブサイトは次のとおりです（[www.hku.hk/cerc/ceshk](http://www.hku.hk/cerc/ceshk)）。読者諸氏は、本学会の活動について、さらに詳しい情報を得るため同ウェブサイトをご覧になるようお勧めします。香港比較教育学会には何人かの海外会員も加わっていますが、より多くの方々の加入を歓迎しています。本学会はまた日本比較教育学会をはじめとする他の比較教育関係学会との間の一層の協力推進を願っています。

香港比較教育学会はアジア地域の比較教育学研究の地平をさらに広げることが本学会特有の使命であると考えています。



香港比較教育学会ロゴ

◆◆◆《香港大学比較教育研究センターより》◆◆◆  
このニューズレター第4号にご寄稿願った香港のマーク・ブレイ教授から、香港大学比較教育研究センター（CERC）の出版物を日本比較教育学会会員に対しては、香港比較教育学会会員と同じ扱いにして、全て20%引きで提供する旨の申し出がありました。出版物についての詳しい情報は  
<http://www.hku.hk/cerc/> でご覧になれます。  
（編集部）

事務局便り・お知らせ

**理事選挙のお知らせ**

本年4月に理事選挙を予定しています。昨年の規定改正で、理事定数が大きく変わりました。規定改正の内容につきましては、JCESニュース3号の6頁をご覧ください。今後の学会運営にとりまして大変重要な選挙ですので、もれなくご投票いただきますようお願い申し上げます。投票のお知らせは4月の第二週にお送りし、投票締め切りは4月22日を予定しております。

**学会ホームページ英語版**

英語版をアップしました。ご覧いただき、お気づきの点がありましたら事務局までご連絡下さい。

**新入会員(入会申し込み順)**

2002年7月～2003年2月

- |           |  |
|-----------|--|
| 黒田 千晴     | 神戸大学大学院生                                   |
| 芦沢 真五     | 大阪大学工学研究科                                  |
| 鈴木 昌世     | 上智大学大学院生                                   |
| 前田 有紀     | 文部科学省生涯学習政策局調査企画課                          |
| 布施 芳一     | 桜美林大学院生                                    |
| 山本 伸二     | 広島大学大学院生                                   |
| 鮑 威       | 東京大学大学院生                                   |
| 高藤三千代     | Teachers College, Columbia University 大学院生 |
| ハウ・エドワード  | トロント大学学生                                   |
| 管田 貴子     | 宇部短期大学                                     |
| 山田 肖子     | インディアナ大学学生                                 |
| 高橋 真央     | 大阪大学大学院生                                   |
| 岡部かおり     | 広島大学大学院生                                   |
| 正楽 藍      | 神戸大学大学院生                                   |
| 日暮トモ子     | 早稲田大学大学院生                                  |
| 田中紳一郎     | (株)パデコ                                     |
| 石井 雅士     | 子ども家庭教育フォーラム                               |
| 林 美穂      | 青森短期大学                                     |
| 朴 永奎      | 九州大学大学院生                                   |
| 趙 晋平      | 九州大学大学院生                                   |
| 竇 心浩      | 東京大学大学院生                                   |
| 長濱 博文     | 九州大学大学院生                                   |
| 福光 瑞江     | (所属なし)                                     |
| 佐藤由利子     | 東京工業大学留学生センター                              |
| ナバウィ、アハマド | モハンマド 筑波大学学生                               |
| 中田 英雄     | 筑波大学心身障害学系教育開発                             |

国際協力研究センター

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 磯田 正美 | 筑波大学教育開発国際協力研究センター |
| 畑中 敏伸 | 筑波大学大学院教育学研究科      |

(お詫びと訂正)3号に新入会員のお名前を誤って記載しました。お詫びして、訂正いたします。

- |         |         |
|---------|---------|
| 石森哲成(誤) | 石橋哲成(正) |
| 高瀬洋行(誤) | 高橋洋行(正) |
| 太田 宏(誤) | 太田 浩(正) |

**会費納入のお願い**

会費納入にご協力をお願いします。3年をこえて未納の方は会員資格を失いますので、至急、納入下さい。なお、2003年度分も受け付けておりますので、早めに納入いただければ大変助かります。

- ・郵便振替口座 00820-6-16161  
(年会費 通常会員 9,000円 学生会員 5,000円)  
また、海外の方は下記銀行口座宛をお願いします。
- ・銀行口座：三井住友銀行 本山支店  
普通 6611784 日本比較教育学会
- ・Bank Account: Mitsui Sumitomo Bank, Motoyama Branch General 6611784  
Japan Comparative Education Society
- ・小切手等の宛先としても略称のJCESは使わず、必ずJapan Comparative Education Societyをお使い下さい。

**訃報 吉田正晴会員ご逝去**

本学会の元理事として長く学会活動に貢献された吉田正晴・広島大学名誉教授におかれましては、去る2月6日に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**編集後記**

はかない命運の雑誌を形容する「三号雑誌」という言葉があります。年2回発行の新生『JCESニュース』はすでに第4号をお届けすることになりました。次号以降のさらなる内容充実を祈って、今期の仕事を終えます。(O.Y.)

**学 会 事 務 局**

〒464-8601 名古屋市千種区不老町1  
 名古屋大学大学院教育発達科学研究科内  
 TEL&FAX : 052-789-2634  
 E-mail: jces@educa.nagoya-u.ac.jp